すこやかハート北九州

保健福祉の情報をお伝えします

自分のために、大切な人のために HIV検査は無料・匿名で受けられます

担保健所保健企画課☎522・5721

12月1日は「世界エイズデー」です

エイズは、HIVウイルスに感染して発症する病気の総称で、性行為や血液・母乳を介して感染する可能性があります。HIVに感染しても、自覚症状がほとんどない期間が数年続くため、感染の有無を知るには検査を受けることが大事です。

市では原則無料、匿名、保険証不要でHIV検査を実施しています。少しでも感染の不安がある人は検査を受けましょう。

また、エイズホットライン(☎522・8727)では、エイズや性感染症について取り次ぎなしで直接相談できます。

検査方法は変更する場合があります。詳細は市のホームページをご確認ください。

▲HIV検査・梅毒検査の詳細はコチラ

▲郵送検査の詳細はコチラ

HIV・梅毒通常検査

検査結果は、おおむね2週間後、本人に面談でお知らせします。

場所 八幡西区役所 5階予診室

日時 11月25日、12月9・23日、来年1月6・20日、2月3・17日、3月3・17日。いずれも水曜日の9～12時。

定 先着各日20人。申 検査日の2週間前から、保健所保健企画課☎522・5721へ。ネットも可。

HIV即日検査

検査結果は、約1時間後に本人に面談でお知らせします。※のみ梅毒検査を同時実施。

場所 保健所(小倉北区馬借一丁目、総合保健福祉センター4階)

日時 ※12月6日(日)9～11時、来年1月4日(月)・2月1日(月)・3月1日(月)の17～19時

定 先着各日25人。申 検査日のおおむね1カ月前から保健所保健予防課☎522・8764へ。ネットも可。

その他、郵送検査もあり。日時などの詳細は、上記の二次元コードからご確認ください。

12月4～10日は人権週間、12月10～16日は北朝鮮人権侵害問題啓発週間です

いじめや虐待、インターネット上の人権侵害、性的少数者に対する偏見や差別、部落差別(同和問題)、北朝鮮当局による人権侵害など、多様な人権問題が存在しています。

自分以外の「誰か」のことではなく自分のこととして、互いの人権を尊重し合うことの大切さを改めて考えてみませんか。

人権週間を機に募集していた標語・ポスターの入賞作品が決定しました。標語9598点、ポスター445点とたくさんのご応募をいただきありがとうございました。

入賞作品は市のホームページでご覧になれます。

▲入賞作品はコチラ

ポスター・最優秀賞 塩山 真結香さん

標語・入選 小原 瑚春さん

知ることで 変わる見方と その未来

担保健福祉局人権文化推進課☎562・5010

市政フラッシュ SHISEI FLASH

このコーナーでは、北九州市の最新の取り組みや話題の出来事などをご紹介します。

ワイン特区の活用 市内3例目! 門司区に農福連携ワイナリー



10月24日、門司区で新たなワイン醸造所「ラベンダーファーム&ワイナリー」の開所式が行われ、本格稼働が始まりました。ワイン特区を活用したワイナリーは、若松区・小倉南区に続き3例目です。

このワイナリーの特徴は、ワイン造りを通じた「農福連携」です。ブドウの栽培・収穫から選別、醸造、瓶詰めまでのさまざまな工程に障害のあるスタッフが携わります。今後30人の雇用創出を目指しています。

ワイン造りを通じて、障害のある人の働く場を広げ、地域の活性化につなげていきます。



問政策局サステナビリティ戦略課 ☎582・2156

観光客数・宿泊客数が過去最高を更新! 「観光大都市」へ加速

北九州市の観光がますます盛り上がりを見せています!

令和7年次の観光動態調査で、観光客数と宿泊客数が過去最高を更新しました。通過型観光にとどまらず、滞在をじっくり楽しむ「宿泊客」や、アジア圏を中心とした「外国人観光客」が増加している点が特徴です。

エリア別では、小倉都心地区や門司港レトロ地区が高い集客力を発揮し、ものづくりを体感する産業観光や、季節を彩る大型イベントも多くの来訪者を引きつけました。

この好調を受け、市内の観光消費額は1279.9億円(対前年比30.6%増)に伸び、地域経済の活性化にもつながっています。

多くの観光客を引きつける北九州。次の休日は、“身近な観光スポット”にお出かけしてみませんか。



▲調査結果はコチラ

問都市ブランド創造局観光課☎551・8150

広告の申し込みは㈱キョウエイアドインターナショナル 0120・609・450まで。
※広告内容と北九州市とは直接関係ありません。